

研究室 からの メッセージ 167

Data (2019年4月現在)

所在地 〒521-1123 滋賀県彦根市肥田町720
スタッフ 安孫子尚子, 後藤則子, 大塩佳名子
URL www.seisen.ac.jp

左から, 大塩, 安孫子, 後藤



聖泉大学看護学部看護学科 地域看護学

History and Now

どのような機関なのでしょう？

本学は、「人間理解と地域貢献」を建学の理念とし、1985（昭和60）年に短期大学として開学しました。2003（平成15）年には大学として人間学部人間心理学科を開設、2011（平成23）年には看護学部を開設し、2学部体制となりました。2015（平成27）年には大学院看護学研究科および別科助産専攻を開設し、現在に至っています。看護学部では、看護師、保健師（選択制）の資格取得が可能です。

Education

どのような教育をしていますか？

本学では、地域で生活する人々の生活実態を健康レベルを問わずアセスメントし、予防活動を考えることができる看護職の育成のために、全ての学生に対して、保健指導、家庭訪問や健康教育、地域診断を、講義と演習により教育しています。授業では、看護職として住民を生活者として視ること、疾病の予防活動、根拠に基づく論理的思考が身につくように、県内で保健師経験のある教員が、事例を交えながら教えています。

地域看護学実習を選択した30名は、5週間の実習の中で、個々に訪問した事例に基づく家庭訪問報告会、小集団への健康教育の実施、調べたデータと住民へのインタビュー、地区踏査などから地域全体の課題を検討し、学生主体で地域診断を行い、実習最終日に実習指導者の前で発表しています。

Research

どのような研究をしていますか？

教員は保健師経験を活かした母子、成人、高齢者の分野の研究に取り組んでいます。各教員が取り組んでいる主な研究テーマは、「子どもの虐待に対する父親支援や乳幼児期の子育て支援」「高齢者の介護予防活動支援」「元気な高齢者への健康教育」です。今年度からは、「障がい者の就労と家族支援」について、地域看護学領域の教員全員で取り組む予定です。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

本学の保健師教育は、滋賀県19市町の協力を得て行っています。特に、地域看護学実習は、滋賀県と滋賀県内の保健師教育機関3大学と、実習施設の指導者との打ち合わせ会議を年1回開催します。学生達の実習での学びを大学から報告し、教育機関と実習施設が協働し、実習のさらなる充実を目指しています。また、市町健康推進部門や介護保険部門からの依頼を受け、市町の保健師への研修会講師や高齢者保健福祉計画の委員として参画しています。

本学から保健師として就職した5期生までの卒業生は10名程度です。今後は、卒業生支援の保健師交流会、看護師から保健師へとキャリアアップを目指す就職支援を行い、地域を支える保健師を育成するための取り組みを継続的にやりたいと考えています。

ひとこと

2015年、滋賀県の平均寿命は男性第1位、女性第4位となり、健康寿命も上位です。聖泉大学は、県内唯一私学で看護学教育を行っており、県内就職率は70%以上の実績があります。本学から巣立った保健師、助産師、看護師が連携し、健康寿命日本一を目指して、地域住民や患者様の健康づくりに貢献できるよう努力したいと思えます。

安孫子

あなたの
研究室を
紹介して
ください！

保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室（保健師教育に関わる講座・分野・領域）を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりをご紹介します。

応募方法 電話、FAX、E-mail のいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 医学書院「保健師ジャーナル」編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 メール hokenshi@gikaku-shoin.co.jp